

## 第3章 計画の目標

### 第1節 基本理念



基本理念とは、市民・事業者・市が環境の保全及び創造を推進するにあたって、行動や判断の共通認識とすべき事項を示したものです。本計画では、焼津市環境基本条例第3条で掲げている3つの基本理念を踏襲して掲げます。

#### ①市民が安全で健康かつ快適な生活を営める健全で恵み豊かな環境を確保し、 将来の世代に継承する

私たちが安全で健康かつ快適な生活を送るためには、きれいな空気や水に囲まれ、豊かな環境の恵みを受けることが必要です。そして、豊かな環境の恵みは、現在の世代が、これを享受しながら将来の世代に継承していかなければなりません。

#### ②自然と人との共生を確保し、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会を 構築するために、すべての者が自主的かつ積極的に取り組む

海、山、川などの自然環境に恵まれた本市の地域特性を活かし、自然環境の保全を図りながら、人と自然との豊かなふれあいの場や機会を確保していくことが必要です。また、持続的に発展できる社会を実現するため、市民、事業者及び市は公平な役割分担のもとに、自主的かつ積極的に取り組むことが必要です。

#### ③地域の環境が地球環境と深く関わっているとの認識のもと、 すべての事業活動及び日常生活において、地球環境の保全を推進する

私たちの事業活動や日常生活は、地球温暖化やオゾン層の破壊などの地球環境問題を引き起こす原因になっています。このような問題を人類共通の課題として認識し、積極的に地球環境の保全を推進することが必要です。





## 第2節 望ましい環境像



望ましい環境像とは、環境課題を踏まえた上で、本市が2050（令和32）年度までにどのような環境を目指して計画を進めていくのかを示す長期的目標です。基本理念のもと、市民・事業者・市の各主体が自らの役割を果たし、将来の望ましい環境像の実現を目指します。

望ましい  
環境像



『みんなの行動が 未来をつくる！』  
豊かな自然と共生するまち・やいづ  
～2050年ゼロカーボンシティを目指して～



青く透き通った海、清らかな川、みどり鮮やかな山、のどかな田園  
私たちは、この恵まれた豊かな自然を活かし  
「2050年ゼロカーボンシティ」を目指したまちづくりを進めていきます。

「第3次焼津市環境基本計画」という羅針盤を基に  
豊かな自然と共生し、温室効果ガス排出量実質ゼロの達成を目指した行動を  
みんなで心を合わせて行うことで、焼津市の未来をつくっていきます。

## 第3節 環境目標



望ましい環境像を実現するための柱として、5つの環境目標を定めます。今後、私たちは、これらの環境目標の達成を目指して、市民・事業者・市が一体となって「第4章 取り組みの推進」に示す施策や取り組みを実践していくことが必要です。

### 環境目標1 | 脱炭素社会をつくる

2050（令和32）年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を実現するため、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの普及、森林吸収の促進、気候変動へ適応した社会を目指します。



### 環境目標2 | 循環型社会をつくる

資源採取から生産、流通、消費、廃棄などの社会経済活動の全段階を通じて、廃棄物の発生抑制や循環資源の利用などの取り組みを推進し、資源の循環する社会を目指します。



### 環境目標3 | 自然共生社会をつくる

生物多様性の保全と生物多様性によってもたらされる恵みを持続的に利用していくため、海・山・川の豊かな自然を保全するとともに、貴重な動植物の保全、外来種や野生鳥獣への対策、自然とのふれあいの場や機会を確保することのできる社会を目指します。



### 環境目標4 | 安全・安心なまちをつくる

汚染されていない水や土、空気は、私たち人間を含めた全ての生物にとっても重要な資源であり、将来の世代に継承するためにも、環境への負荷を低減し、安全・安心なまちを目指します。



### 環境目標5 | 統合的に取り組みを進める

気候変動に適応した脱炭素社会、循環型社会、自然共生社会、そしてこれら3つの社会を支える安全・安心なまちづくりを実現するため、環境教育・環境学習、環境保全活動の推進など、分野横断的な取り組みを進めます。



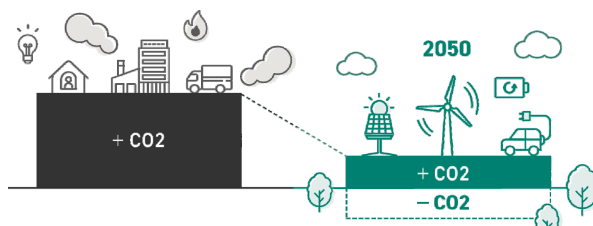
#### コラム



### 焼津市環境にやさしい市民運動

本市は、2021（令和）3年3月に「2050年ゼロカーボンシティ」を表明しました。そこで、「2050年ゼロカーボンシティ」を実現するために、2022（令和4）年度から、市民・事業者・団体と行政が一体となって、省エネ行動や燃やすごみの減量などの取り組みを行う「焼津市環境にやさしい市民運動」を展開しています。この運動に参加していただける団体や事業者を募集し、「チームゼロカーボン焼津」として市のホームページで公表します。

なお、「環境にやさしい市民運動」には年間の取り組みテーマがあり、2022（令和4）年度は「環境にやさしいライフスタイルに変えていこう」です。「チームゼロカーボン焼津」に参加して、「2050年ゼロカーボンシティ」を実現しましょう。



ゼロカーボンシティの考え方

【資料：環境省・脱炭素ポータル】

第4節

第3次焼津市環境基本計画の体系



望ましい環境像

『みんなの行動が 未来をつくる！』  
豊かな自然と共生するまち・やいづ  
～2050年ゼロカーボンシティを目指して～



重点プロジェクト

- 重点1 | みんなで目指すゼロカーボンシティ プロジェクト
- 重点2 | ごみ資源循環 プロジェクト
- 重点3 | 豊かな自然との共生 プロジェクト
- 重点4 | やいづエコ市民 プロジェクト

環境目標

脱炭素社会  
をつくる

循環型社会  
をつくる

自然共生社会  
をつくる

安全・安心なまち  
をつくる

統合的に  
取り組みを進める

取り組み方針

1 エネルギーを有効利用するまち

2 緑豊かで脱炭素なまち

3 気候変動に適応するまち

4 廃棄物を減らすまち

5 廃棄物が適正に処理されるまち

6 自然環境を守るまち

7 多くの生き物・自然とふれあえるまち

8 水と空気がきれいで静かなまち

9 有害化学物質による汚染や公害のないまち

10 環境を知り・学び・活動するまち

11 環境と経済が両立するまち